

## 菌部澄写真展「失われた日本の風景―都市懐旧―」

2025 年 11 月 1 日

町田市フォトサロン

町田市フォトサロンでは冬の企画展として、菌部澄写真展「失われた日本の風景―都市懐旧―」を開催いたします。

本展の作者、菌部澄（そのべ・きよし）は東京・佃島に生まれ、名取洋之助、木村伊兵衛から写真を学びました。太平洋戦争の応召でフィリピンへ。戦後は、『岩波写真文庫』などでカメラマンとして働いた後に独立。写真家として人と風土との関わり合いを追い求めて、日本各地の撮影を続けました。

今回の写真展では、一般財団法人日本カメラ財団の所蔵する菌部澄作品から、戦後間もない時期から昭和 30 年代半ばまでの東京をはじめとした街と人々をとらえた写真を展示します。

昭和 100 年・戦後 80 年を数え、街のあり方、人々の生活は大きく変わりました。本展の風景は懐かしさを超えて、おとぎ話に近いのかもしれませんが。そのようななかにも現在につながり、これからを見据える手がかりを見つめることができるのではないのでしょうか。

一人の写真家が残した日本の風景を端正なモノクロプリントでご覧ください。

### 菌部澄写真展「失われた日本の風景―都市懐旧―」

会期：2026 年 1 月 10 日（土）～2 月 8 日（日） 会期中の休館日：火曜日

会場：町田市フォトサロン 2 階展示室 展示作品：モノクロ、40 点

主催：町田市フォトサロン 展示協力：一般財団法人日本カメラ財団

管理運営：NPO 法人ワークショップハーモニー

### 会期中のイベント

ギャラリートーク（一般財団法人日本カメラ財団学芸員 宮崎真二氏）

日時：2026 年 1 月 24 日（土）14 時から（90 分を予定しています）

会場：町田市フォトサロン 参加費：無料（直接会場まで）

展示作品 広報用に写真のデータをご用意してございます



左) 東京・佃島 1951 (昭和 26) 年頃

中) 大阪駅 1952 (昭和 27) 年 右) 東京・新宿 1951 (昭和 26) 年 6 月 20 日

藺部 澄（そのべ・きよし）

- 1921 年（大正 10 年）2 月 14 日 東京市京橋区佃島（現・中央区佃）生まれ。
- 1937 年 京橋尋常高小卒業後、書店・金松堂（赤坂）に奉公し、プロマイド販売のために暗室仕事を始める。
- 1940 年 カメラ店・双美商会に転じて暗室と撮影に取り組む。
- 1943 年 東方社に入社して暗室業務を担当し、木村伊兵衛に師事する。
- 1944 年 応召、フィリピン戦へ従軍。1945 年末に復員。
- 1947 年 サン・ニュース・フォトスに入社。木村伊兵衛の助手を務めながら、『週刊サン・ニュース』の暗室業務及び撮影を担当。
- 1950 年 岩波映画製作所に入社。「岩波写真文庫」で約 60 冊の撮影を担当。
- 1957 年 フリーランス。
- 1968 年 『日本の民具 全 4 巻』（慶友社、1964-67 年）及び『黒川能』（平凡社、1967 年）で第 18 回日本写真協会賞年度賞受賞。
- 1989 年 『忘れえぬ戦後の日本 東日本編、西日本編』（ぎょうせい、1988 年）で第 39 回日本写真協会賞年度賞受賞。
- 1995 年 『冬日本海』『冬北海道』（日本カメラ社、1994 年）で第 45 回文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞。
- 1996 年（平成 8 年）3 月 5 日 逝去。享年 75 歳。

写真集

- 『北上川（世界写真作家シリーズ）』（平凡社、1958 年）
- 『日本の郷土玩具 全 6 巻』（美術出版社、1962-63 年）
- 『奈良六大寺大観 6、7、9、11、12、13 巻』（岩波書店、1969-72 年）
- 『奈良の寺 14、18 巻』（岩波書店、1974 年）
- 『日本の土人形』（文化出版局、1978 年）
- 『ふるさと』（朝日新聞社、1983 年）
- 『桜前線』（ぎょうせい、1990 年）
- 『子どもの領分』（淡交社、1996 年）ほか多数。

。 町田市フォトサロン

所在地：195-0063 東京都町田市野津田町 3272 薬師池公園内

電話：042-736-8281 FAX：042-736-0868

ホームページ：<https://www.phmuse.com> E-mail：[ph.muse@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:ph.muse@galaxy.ocn.ne.jp)

開館時間：9 時 30 分～16 時 30 分（入館は 16 時まで） 入館料：無料

休館日：火曜日（祝日の場合、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、臨時休館有

